

根田暁子 先生 (JCF 同路人事務局長) 略歴

昭和 24 年 9 月 14 日、秋田市土崎港に生まれる
 昭和 43 年 3 月 聖霊高校普通科卒業
 昭和 45 年 3 月 聖霊女子短期大学英語科卒業
 昭和 45 年～平成 5 年 東北製紙(現日本製紙)、同和エンジニアリング(現DOWAテクノエンジ)、中央開発と秋田市内の3社に勤務
 平成元年 中国復旦大学留学(2週間)
 平成 5 年 1 月 26 日 通勤途中、交通事故に遭うが一命を取り留める
 平成 7 年 秋田県日中友好協会事務局長
 平成 8 年 11 月 日中友好協会の実務者セミナーで訪中
 平成 12 年春 秋田県日中友好協会を辞める
 平成 14 年 11 月 日中友好サークル「JCF (Japan China Friendship) 同路人」を留学生と立ち上げる
 平成 18 年 「活(い)き粋(いき)サロン」開設
 平成 19 年から約4年間、秋田市のノースアジア大学で非常勤講師
 平成 23 年 ノースアジア大学法学部入学
 平成 27 年 3 月 同大学卒業
 平成 27 年 秋田少年鑑別所の「矯正業務補佐員」を務める
 令和 6 年 8 月 29 日 秋田県特別表彰を受ける



秋田大学教育学部を卒業した留学生



活き粋きサロンの高齢者学級

* 今回講演会『日中交流を続けて思う』について

中国語を始めたきっかけは父の涙でした。日中国交が回復して、中国から留学生や残留孤児が一時帰国を果たし、父は泣きました。牡丹江に配属された父にとって中国は楽しい思い出がたくさんあった国ですが、衛生的でない中国で日本の子供たちが生きているとは思ってもいなかったようです。その話が私の心に深く残っていたのでしょう。私が中国語を学び、留学生や中国残留孤児と言われた人たちと触れ合うことにつながりました。留学生は次々と卒業し日本の企業で働いています。そして、残留孤児たちは平均 87 歳になりました。今後とも中国の方々との交流を大事にし、体が動くうちは自分ごとのように考え、彼らと仲良く過ごしたいと思います。



市民おもしろ塾後援 **「能代おもしろ映画祭り」** 10 月 4 日(土)～5 日(日)



【国立映画アーカイブ優秀映画鑑賞推進事業4作品】 能代市文化会館中ホール
 小津安二郎名作特集 35mm 入場料 1 本 500 円 高校生以下無料 入替あり

10
月
4
日
(土)



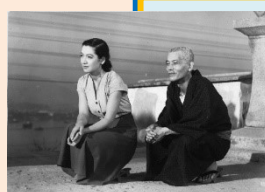
麦秋

① 10:00～12:10



彼岸花

② 14:20～16:20



東京物語 (4 日 5 日両日上映)

③ 16:40～19:00

② 14:20～16:40

能代市立能代図書館集会所
 10 月 5 日(日)【入場無料】
 ① 11:00～12:30 児童向けアニメ
 『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』9 巻 /
 兵糧キャラメル他
 ② 14:00～15:40 『裸足になって』



秋刀魚の味

① 10:00～12:00

10
月
5
日
(日)

ピアノ 斉藤誠宏と
 『コーラスうらら』合唱特集

両日幕間(13:00～14:00)に
 映画音楽名曲のプレゼント

デュオ・レジェンダ
 (マンドリン・平丈恵
 / ギター・神原純一)
 演奏特集

※詳細は、別チラシをご覧ください